

深谷市立榛沢小学校
学校だより

令和3年度 9月号

発行 令和3年8月27日



はんざわ

児童数 176名

教職員数 26名

学校教育目標
目指す児童像

ふるさとを愛し、自己の夢の実現に向けて努力する児童の育成
進んで勉強する子 思いやりのある子 体をきたえる子



「充実の秋」に向けて



深谷市立榛沢小学校長 横田 茂男

今日から2学期が始まりました。大きな事故もなく子供たちは元気に2学期を迎えることができました。健康面や安全面等でご配慮くださいました保護者、地域の皆様にご心より感謝申し上げます。

夏休み中に東京2020オリンピックが開催されました。現在はパラリンピックが開催されています。テレビでご覧になられた方も多いかと思います。オリンピックでは、柔道や卓球、レスリングをはじめ多くの種目で日本の代表選手が活躍しました。たくさんの場面で感動を覚えました。勇気をいただきました。オリンピックやパラリンピックは、フェアプレー精神や国境やハンディキャップを超えた相互理解や友情を築き上げる力があることを再認識しました。何よりスポーツには心を解放させる力があることを改めて感じました。

さて、2学期は、運動会や芸術鑑賞会、校外学習等々、多くの行事が控えています。子供たちの心身の成長が期待できる学期です。子供たちのよりよい変容を目指し、ご家庭におかれましても、困難に負けない逞しい心、学習や運動に立ち向かう意欲などを高める環境づくりをお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染確認は県内では8月19日に2,000人を超えるなど予断を許さない状況が続いています。県下に発令されている緊急事態宣言は、9月12日までの延長が決定されています。最近の状況としては子供が感染するケースが増えています。ワクチン接種は11歳以下は対象とならないため、学校は今後も感染防止策を徹底する必要があります。仮に教室内で児童が濃厚接触者となった場合、該当児童に登校を控えていただくこととなります。学級閉鎖となり教育活動が停止される場合も考えられます。お子さんやご家族に発熱等の風邪症状が見られる場合は、ウイルスを学校に持ち込ませないことを最優先にした対応をお願いいたします。万が一、感染した場合、このことは非難の対象となるものではありません。私たち教職員と保護者、地域の皆様で、温かい気持ちで回復することを見守りたいと思います。不要な詮索やSNSへの投稿等は行わないようお願いいたします。

夏休み中の行事から

子ども議会が7月29日に開催されました。

子ども議会は昨年度は実施できませんでした。

今年度は、感染への配慮から、小学校19校を前半10校、後半9校の2部に分けて実施しました。

本校からは6年生の生澤直人さんが後半の部に参加しました。一人目の質問者として登壇し、「自転車専用道路の整備について」質問しました。休憩をはさんだ後半は副議長を務め、役目を立派に果たしました。

質問内容「自転車専用道路の整備について」

毎年、車道が整備されていますが、自転車専用道路がありません。歩道や車道が狭い道路が深谷市内にはあり、自転車で通るのが危ないのではないかと思います。

僕も時々自転車に乗る時、車が横を通るとふらついてしまし、少し怖い思いをすることがあります。

もし、自転車専用道路が増えれば、自転車に乗るぼくたちは、今より安心して乗ることができ、車を運転する人にとっても安全だと思います。

道路を広げるなどの整備は、先に建物が建っていて、難しいと思いますが、どのように決めているのでしょうか。



田嶋都市整備部長答弁(抜粋)

自転車専用道路の整備には多くの時間と費用を要します。市としては、学校やPTAの皆様の声を反映させた通学路整備計画に基づき、グリーンベルトを設けるなどし、児童生徒の交通安全対策に引き続き取り組んでまいります。